

令和7年度第2回 高校生と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和7年11月12日（水） 午後1時40分 ～ 午後2時50分	
開催場所	木津川市役所4階 会議室（4-3）	
担当議員	班代表者	森本 隆
	司会者	倉 克伊
	記録者	山本 しのぶ 草水 基成
	班員 （上記以外）	谷川 光男
参加人数	南陽高校生8人（市内4人、市外4人）	
主な質疑・意見等	<p>◆メインテーマ 「高校生からみた木津川市への想い」</p> <p>◆3班「木津川市の交通問題について」</p> <p>●バス関係</p> <p>高Q：バスが毎日遅延している理由は何か。</p> <p>議A：南陽高校の朝の通学時に合わせてバスの運行状況について、①木津駅から山田川駅、南陽高校②高の原駅から南陽高校③山田川駅から木津駅経由で南陽高校④高の原駅から南陽高校の4つの路線の10月の毎日の実態を調べた。一番遅れているのが木津駅から山田川駅、南陽高校に行くバスで、1分から14分遅延しており、10分以上の遅延が4回ある。高の原駅から南陽高校は1分か2分の遅延。山田川駅から木津駅へ行って南陽高校に行くのも、3分から11分遅延しており、10分以上の遅延が2回ある。高の原駅から南陽高校は、0分から3分の遅延。実態調査から遅延理由は、国道24号などで信号や踏切による交通渋滞である。</p> <p>高Q：バスの時刻表を改善できないのか。</p> <p>議A：南陽高校と駅で30分に1本あるので、木津川市全体で考えると適正な本数と思う。</p> <p>高Q：通学時間だけバスの本数を増やすことはできないのか。</p> <p>議A：南陽高校へは2路線使えて30分に1本である。運行経費の半分は、運賃収入でまかなうことになっている。収支を考えると、今の本数が適正な状態であると思う。</p> <p>高Q：南陽高校は8時35分から始まるので、遅刻ギリギリ。朝は、ほぼ平日毎日遅れているので、朝の時間帯を遅れることを見越して改善してほしい。</p>	

主な質疑
・意見等

議A：梅谷7時27分発で南陽高校8時15分着の便を、梅谷7時17分発に10分前倒しにしたいなと思っているが、JRとの乗り継ぎなどの課題がある。バスを管轄する学研企画課も現状の課題を想定していなかった。梅谷からの便と山田川駅経由、木津駅経由、南陽高校も10分前倒しになればと提案していきたい。

●道路関係

高Q：道路植栽の草刈りの場所は増やせるか。

議A：基本的に木津川市の市道は、お盆前の7月～8月頃と10月末～11月の年2回実施している。通行の邪魔になっているところがあれば、市役所の管理課へ連絡してください。職員が現地を確認し、道路状況によって対応する。その他、地域長が2月ぐらいに地域の要望を取りまとめて、木津川市総務課に提出する地域要望がある。また、街路樹の剪定は、年1回で10月から11月頃。府道の草刈りは、年1回8月頃。草刈りの進捗状況が違うことに疑問を感じると思うが、道路によって京都府や木津川市など管理者が違うので、予算や実施回数・時期に差が生じる。

高Q：ガードレールを撤去して、別のものに変えたり、ガードレールを通行の邪魔にならないかつ歩行者の安全を守れる場所に動かしたりして、通行の邪魔にならないようにすることはできないのか。

議A：木津小学校とか中央図書館あたりは、ガードレールがあるために狭いところがあるが、ガードレールは、人の命を守るためにつけているので撤去や強度がないフェンスには変えられない。ただし、少し角度を変えたら通りやすくなるなら、管理課へ相談してください。現地確認し、相談の上、移動できる場合もある。大きな変更などは、警察、公安委員会への相談もあるので簡単でない。その他、地域として要望をあげる方法と通学路に関する箇所であれば、PTAや学校を通じて教育委員会に伝え、通学路等の安全推進会議で諮ってもらうこともある。

高Q：住宅街の道を整備できないか。カーブミラーをつけてもらえないか。

議A：市道であれば管理課だが、カーブミラーをつけたりするのは個人の意見ではなかなか認められない。自治会を通じて地域長から地域要望として、市の総務課に提出してもらう方法がある。学校に通うのに、不便などところの防犯灯、ミラーなどの要望は、PTAとして、学校教育課に要望書を年1回提出する方法がある。府へは、府民協働型インフラ保全事業というのがある。

●その他

高Q：相楽のタイヤ館近くで、学校の帰り午後7時ごろ、自転車で直進しているとき、暗くて見えなかったのか車が右折して曲がってきて接触しそうになった。暗くて見えなかったと思うので、街灯をつけてほしい。

議A：京都府が管理している国道だと思う。市を通じて訴えることもできる。街灯は一定の間隔があるが、暗くてよく事故がおこるのなら検討の余地があると思う。

高Q：自転車通学の時、旧給食センターがある道路のお寺、神社の所で、蔦とか葉っぱとかが顔などにあたったりする場合はどこに言ったらいいいのか。

議A：市を通じてお寺、神社に伝えることもできる。

高Q：府と市の管轄の範囲をどのようにしたらわかるのか。

議A：まずは、身近な市に問い合わせをしてください。また、スマホなどで場所と状況を写真に撮って持ってきてもらったら、どこか早くわかる。

高Q：2階まで水が浸かったら避難場所はどこか。

議A：この近くだったら、3階以上で木津小学校。台風の場合は早くわかるから、城山台小学校も避難所になっている。線状降水帯が来るとなれば、避難所開設をホームページで案内がある。防災メールに登録しておけば避難所開設の連絡がくる。普段からどこに避難するか確認してください。昨年、新しくつくった防災マップを全戸配布しているので家族で見てください。市役所周辺は電柱に危険な水位が書かれている。それを目安にしてください。

高Q：信号がない場所で車と自転車がかち合う場合がある。その時、どういう行動をとった方が良いのか。

議A：自転車専用道路があればいいのだが、車はどんな人が運転しているかわからないので、安全重視で車に譲る。又は、指定された通学路を走る。

高Q：クマへの対策。今後どのように対応していこうと考えているのか。

議A：この地域はクマがいない前提で計画が立てられている。京都府の北の方、京丹後などは、クマがいるという前提のもと色々な対策がある。2、3カ月調べた中で対応の違いがわかった。緊急銃猟という仕組みもあるが、ハンターも10年ぐらいの経験を積まないと撃たしてもらえない。具体的には、カメラをつけて同じクマが同じところを通ることがわかれば緊急銃猟の対象になると京都府もルールを変えてくれた。これまでは、檻で捕まえて離すしかなかったが、離す先に理解が得られなかったので捕まえることができなかった。行政は、まず、夏休みに入る前に小中学校の児童生徒に鈴を配った。山に入らないことや朝や夜の外出など各自で気をつけもらわないといけない。

高Q：積極的にチャレンジとは、具体的に何をしたらいいのか。

議A：南陽高校は、中学高校の一貫校。一学期分留学できる制度がある。日本、木津川市で育って小中高での生活スタイルと考え方が、アメリカに行ったらまったく違うことに、まず気づくことが必要。TOEICである程度のレベルのネイティブな発音ができるようにならないかなと思う。アメリカとかに行っていたら、精神的にも何か得るものがある。チャレンジしてください。

<p>質問・要望等で行政側へ報告すべき内容</p>	<p>①梅谷7時27分発で南陽高校8時15分着の便を、梅谷7時17分発に10分前倒しと山田川駅経由、木津駅、南陽高校も10分前倒しのバス運行。</p> <p>②相楽のタイヤ館近くで、学校の帰り午後7時ごろ、自転車で直進しているとき、暗くて見えなかったのか車が右折して曲がってきて接触しそうになった。暗くて見えなかったと思うので、街灯をつけてほしい。</p> <p>③自転車通学時、旧給食センター前の道路の、お寺、神社の所で、蔦とか葉っぱとかが顔などに当たったりするので対応してほしい。</p>
<p>その他特記事項</p>	

上記のとおり、報告します。

令和7年11月28日

木津川市議会議長 柴田 はすみ 様

令和7年度第2回議会報告会

第3班 代表者 森本 隆